

## 2 火災の概要

### (1) 概 要

平成23年中における火災の概況は、出火件数842件、これらの火災による被害は、損害額17億3,662万0千円、死者42人、負傷者85人、焼損棟数614棟、建物焼損床面積21,776㎡、同表面積2,315㎡、林野焼損面積316a、り災世帯数355世帯、り災人員905人となっている。(表2-1)

表2-1 平成23年中の火災の概況

区 分		平成23年 (A)	平成22年 (B)	増減数 (C)=A-B	増減率 (C/B*100)	
出火件数	建物火災	418 件	417 件	1 件	0.2 %	
	林野火災	34 件	35 件	△1 件	△2.9 %	
	車両火災	90 件	95 件	△5 件	△5.3 %	
	船舶火災	1 件	0 件	1 件	— %	
	その他の火災	299 件	255 件	44 件	17.3 %	
	計	842 件	802 件	40 件	5.0 %	
焼損棟数	全 焼	151 棟	125 棟	26 棟	20.8 %	
	半 焼	36 棟	47 棟	△11 棟	△23.4 %	
	部分焼	201 棟	178 棟	23 棟	12.9 %	
	ぼ や	226 棟	228 棟	△2 棟	△0.9 %	
	計	614 棟	578 棟	36 棟	6.2 %	
焼損面積	建物	床面積	21,776 ㎡	25,091 ㎡	△3,315 ㎡	△13.2 %
		表面積	2,315 ㎡	2,150 ㎡	165 ㎡	7.7 %
	林 野	316 a	194 a	122 a	62.9 %	
死 者		42 人	30 人	12 人	40.0 %	
負 傷 者		85 人	107 人	△22 人	△20.6 %	
り災世帯	全 損	99 世帯	72 世帯	27 世帯	37.5 %	
	小 半 損	256 世帯	250 世帯	6 世帯	2.4 %	
	計	355 世帯	322 世帯	33 世帯	10.2 %	
り 災 人 員		905 人	992 人	△87 人	△8.8 %	
火災損害額	建物火災	建 物	1,067,762 千円	1,261,114 千円	△193,352 千円	△15.3 %
		収 容 物	558,235 千円	674,580 千円	△116,345 千円	△17.2 %
		計	1,625,997 千円	1,935,694 千円	△309,697 千円	△16.0 %
	林野火災	3,170 千円	1,476 千円	1,694 千円	114.8 %	
	車両火災	54,162 千円	81,456 千円	△27,294 千円	△33.5 %	
	船舶火災	207 千円	0 千円	207 千円	— %	
	その他火災	9,781 千円	14,443 千円	△4,662 千円	△32.3 %	
	爆 発	43,303 千円	619 千円	42,684 千円	6895.6 %	
	合 計	1,736,620 千円	2,033,688 千円	△297,068 千円	△14.6 %	
出 火 率 (人口1万人あたりの出火件数)		4.05 件	3.85 件			

出火件数を前年と比べると、総出火件数で40件(△5.0%)の増加となっており、火災種別ごとに見ると建物火災1件(0.2%)、船舶火災1件、その他火災44件(17.3%)増加しており、林野火災1件(△2.9%)、車両火災5件(△5.3%)減少している。

損害額を前年と比べると、総額で2億9,706万8千円(△14.6%)減少している。火災種別ごとに見ると、林野火災169万4千円(114.8%)、船舶火災20万7千円、爆発4,268万4千円(6,895.6%)増加しており、建物火災3億969万7千円(△16.0%)、車両火災2,729万4千円(△33.5%)、その他火災466万2千円(△32.3%)、減少している。

次に、平成23年中の火災を1日あたりで見ると、出火件数2.3件、損害額475万8千円、建物焼損棟数1.7棟、建物焼損床面積59.7㎡、建物焼損表面積6.3㎡、林野火災面積0.9aとなっている。(表2-2)

表2-2 1日あたりの火災による損害

区 分	単 位	平成23年(A)	平成22年(B)	増減数(A-B)
出 火 件 数	件	2.3	2.2	0.1
損 害 額	千円	4,758	5,572	△814
建 物 焼 損 棟 数	棟	1.7	1.6	0.1
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	59.7	68.7	△9.1
建 物 焼 損 表 面 積	㎡	6.3	5.9	△0.5
林 野 焼 損 面 積	a	0.9	0.5	0.3

## (2) 出火件数

### ア 火災種別出火件数

出火件数を火災種別ごとで見ると、建物火災は構成比49.6%で最も高い比率を占めており、次いでその他の火災(堤防・河川敷・空き地等の枯れ草等の火災)、車両火災、林野火災(原野・牧野・天然林・人工林の火災)、船舶火災の順となっている。

前年構成比と比べると、船舶火災、その他火災が増加し、建物火災、林野火災、車両火災が減少した。(表2-3)

表2-3 火災種別出火件数の構成比 単位:件、%

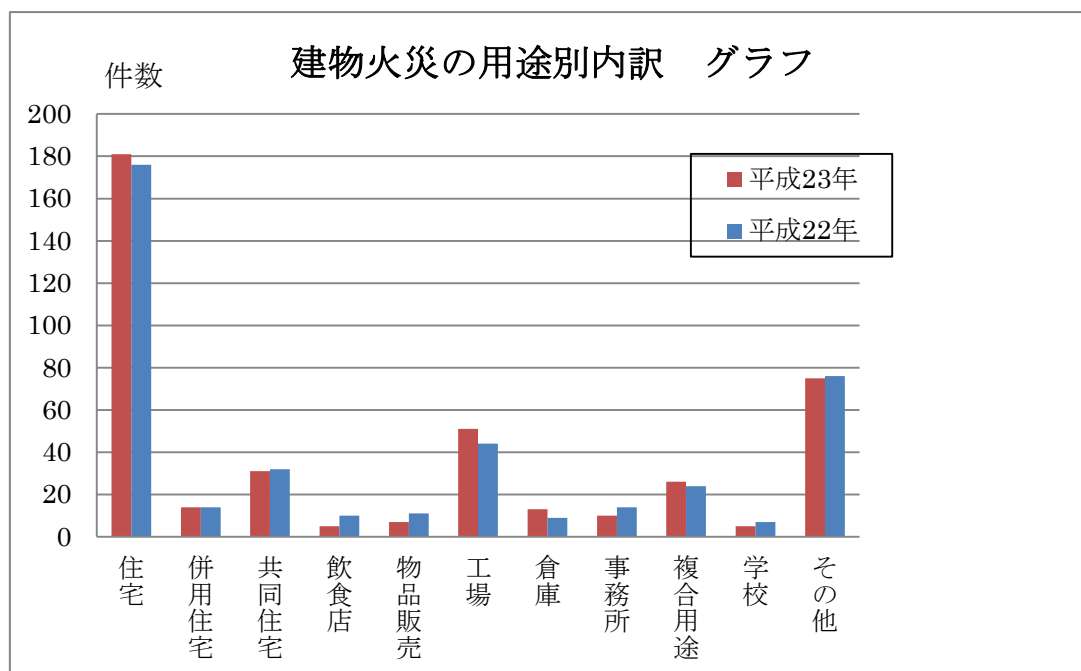
	平成23年		平成22年	
	出火件数	構成比	出火件数	構成比
建 物 火 災	418	49.6	417	52.0
林 野 火 災	34	4.0	35	4.4
車 両 火 災	90	10.7	95	11.8
船 舶 火 災	1	0.1	0	0.0
そ の 他 の 火 災	299	35.5	255	31.8
計	842	100.0	802	100.0

### イ 建物火災の用途別内訳

建物火災の出火件数を建物の用途別で見ると、住宅が181件(43.3%)、併用住宅が14件(3.3%)、共同住宅が31件(7.4%)発生しており、これらを合わせると54.0%となり、建物火災全体の半数強を占めている。件数順では次いで工場、複合用途(一つの事務所で2種以上の異なった事業を兼ねて行っている等)、倉庫の順となっている。(表2-4)

表2-4 建物火災の用途別内訳

区分		住宅	併用住宅	共同住宅	飲食店	物品販売	工場	倉庫	事務所	複合用途	学校	その他	合計
平成23年	件数	181	14	31	5	7	51	13	10	26	5	75	418
	構成比	43.3	3.3	7.4	1.2	1.7	12.2	3.1	2.4	6.2	1.2	17.9	100.0
平成22年	件数	176	14	32	10	11	44	9	14	24	7	76	417
	構成比	42.2	3.4	7.7	2.4	2.6	10.6	2.2	3.4	5.8	1.7	18.2	100.0



### ウ 季節別出火件数

出火数を季節別にみると、1月～3月が259件（30.8%）と最も多く発生しており、次いで4月～6月232件（27.6%）、10月～12月193件（22.9%）、7月～9月158件（18.8%）の順となっている。

前年に比べると、4月～6月、7月～9月、10月～12月の比率は減少しているが、1月～3月の比率は増加している。（表2-5）

表2-5 季節別出火状況

区分		1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
平成23年	出火件数	259	232	158	193	842
	構成比	30.8	27.6	18.8	22.9	100.0
平成22年	出火件数	170	240	197	195	802
	構成比	21.2	29.9	24.6	24.3	100.0

### (3) 出火原因

出火件数を出火原因別に見ると、たき火による火災が98件（11.6%）で1位となっている。続いて、たばこ66件（7.8%）、こんろ61件（7.2%）、放火の疑い54件（6.4%）、放火44件（5.2%）の順となっている。

昨年と比べると、たき火32件（48.5%）、こんろ6件（10.9%）、火入れ10件（50.0%）電灯電話等の配線2件（9.1%）、その他29件（12.7%）増加している。（表2-6）

表2-6 出火原因別の出火件数と出火原因比率

	平成23年(A)			平成22年(B)			増減 (C) A-B	増減率 (C/B) *100
	順位	件数	構成比	順位	件数	構成比		
たき火	1	98	11.6	2	66	8.2	32	48.5
たばこ	2	66	7.8	1	72	9.0	△6	△8.3
こんろ	3	61	7.2	4	55	6.9	6	10.9
放火の疑い	4	54	6.4	3	58	7.2	△4	△6.9
放火	5	44	5.2	5	51	6.4	△7	△13.7
火入れ	6	30	3.6	9	20	2.5	10	50.0
火遊び	7	28	3.3	6	28	3.5	0	0.0
電灯電話等の配線	8	24	2.9	8	22	2.7	2	9.1
ストーブ	9	23	2.7	7	25	3.1	△2	△8.0
配線器具	10	15	1.8	10	19	2.4	△4	△21.1
その他		257	30.5		228	28.4	29	12.7
不明(調査中を含む)		142	16.9		158	19.7	△16	△10.1
計		842	100.0		802	100.0	40	5.0

(4) 損害額

平成23年中の火災による損害額は、17億3,662万0千円で、前年に比べ2億9,706万8千円減少しており、1件あたりの損害額も206万2千円と、前年に比べ47万3千円減少した。

火災種別ごとの損害額は、建物火災によるものがほとんどで全体の93.6%を占めている。次いで、車両火災(3.1%)、爆発(2.5%)、その他火災(0.6%)、林野火災(0.2%)の順となっている。

火災種別ごとに1件あたりの損害額を前年と比べると、林野火災5万1千円、爆発2,134万2千円増加し、建物火災75万2千円、車両火災25万6千円、その他火災2万4千円減少している。(表2-7)

表2-7 火災種別損害額

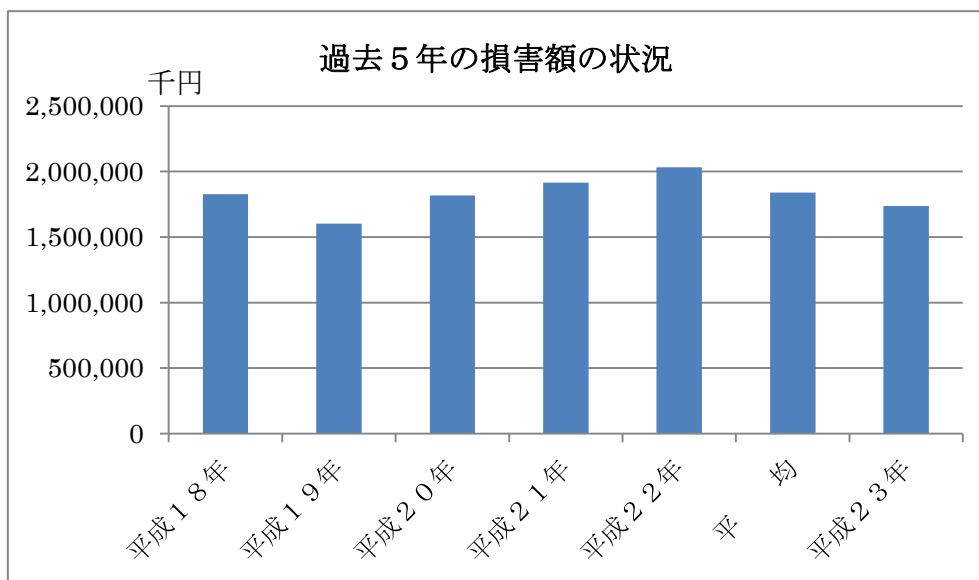
(単位:千円)

	平成23年			平成22年			増減	
	損害額	1件あたり損害額	構成比	損害額	1件あたり損害額	構成比	1件あたり損害額	率
建物火災	1,625,997	3,890	93.6	1,935,694	4,642	95.2	△752	△16.2
林野火災	3,170	93	0.2	1,476	42	0.1	51	121.1
車両火災	54,162	602	3.1	81,456	857	4.0	△256	△29.8
その他火災 (船舶火災含む)	9,988	33	0.6	14,443	57	0.7	△24	△42.2
爆発	43,303	21,652	2.5	619	310	0.1 以下	21,342	6,895.6
計	1,736,620	2,062	100.0	2,033,688	2,536	100.0	△473	△18.7

次に、平成23年中の火災による損害額を過去5年間の平均損害額と比べると、林野火災、爆発は平均を上回っており、建物火災、車両火災、その他火災及び総額は平均を下回っている。(表2-8)

表2-8 過去5年間の損害額の状況

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災 (船舶火災含む)	爆発	総額
平成18年	1,596,068	959	67,373	14,010	148,436	1,826,846
平成19年	1,540,591	1,261	42,795	18,785	0	1,603,432
平成20年	1,706,382	104	60,975	49,846	50	1,817,357
平成21年	1,780,102	599	54,143	73,086	7,797	1,915,727
平成22年	1,935,694	1,476	81,456	14,443	619	2,033,688
平均	1,711,767	880	61,348	34,034	31,380	1,839,410
平成23年	1,625,997	3,170	54,162	9,988	43,303	1,736,620



## (5) 火災による死者及び負傷者

### ア 火災種別ごとの死者数

平成23年中の火災による死者数は42人で、前年と比較すると12人(40.0%)増加している。火災種別ごとの死者数は、建物火災によるものが33人で、死者総数の78.6%を占めている。次いで車両火災5人(11.9%)、その他火災4人(9.5%)の順となっている。

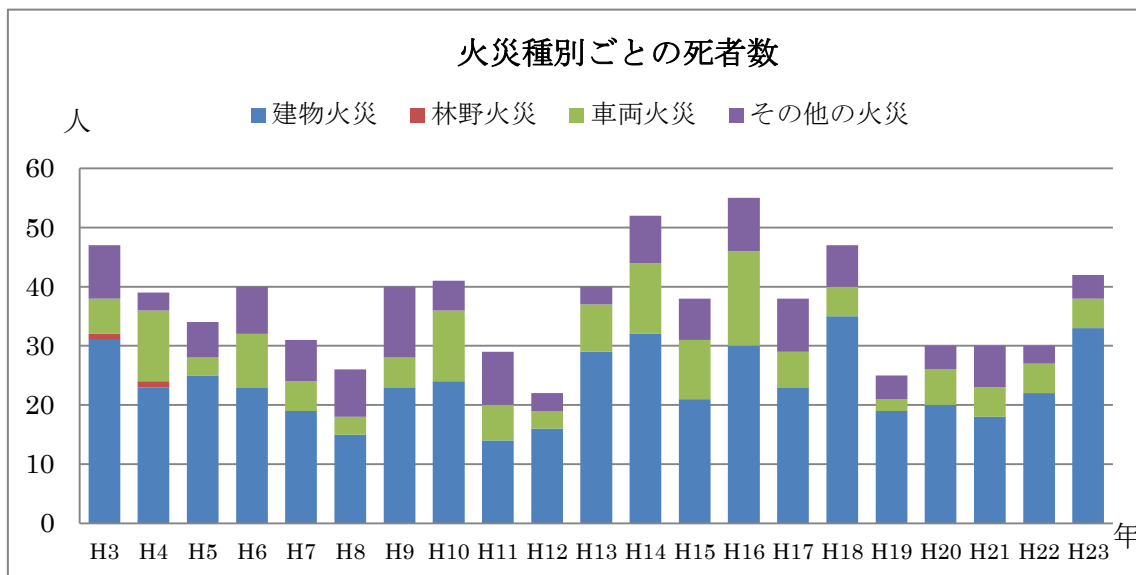
過去20年の平均と比べると、建物火災と総数が平均を上回った。(表2-9)

2-9 火災種別ごとの死者数

区分	H3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
建物火災	31	23	25	23	19	15	23	24	14	16
林野火災	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
車両火災	6	12	3	9	5	3	5	12	6	3
その他の火災 (船舶火災含む)	9	3	6	8	7	8	12	5	9	3
計	47	39	34	40	31	26	40	41	29	22

区 分	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
建 物 火 災	29	32	21	30	23	35	19	20	18	22
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	8	12	10	16	6	5	2	6	5	5
その他の火災 (船舶火災含む)	3	8	7	9	9	7	4	4	7	3
計	40	52	38	55	38	47	25	30	30	30

区 分	平均	H23
建 物 火 災	23.1	33
林 野 火 災	0.1	0
車 両 火 災	7.0	5
その他の火災 (船舶火災含む)	6.6	4
計	36.7	42



#### イ 火災種別ごとの負傷者

平成23年中の火災による負傷者は85人で前年に比べ22人(20.6%)減少している。火災種別ごとの負傷者は、建物火災によるものが71人で、負傷者総数の83.5%を占めている。次いでその他火災11人(12.9%)車両火災3人(3.5%)の順となっている。

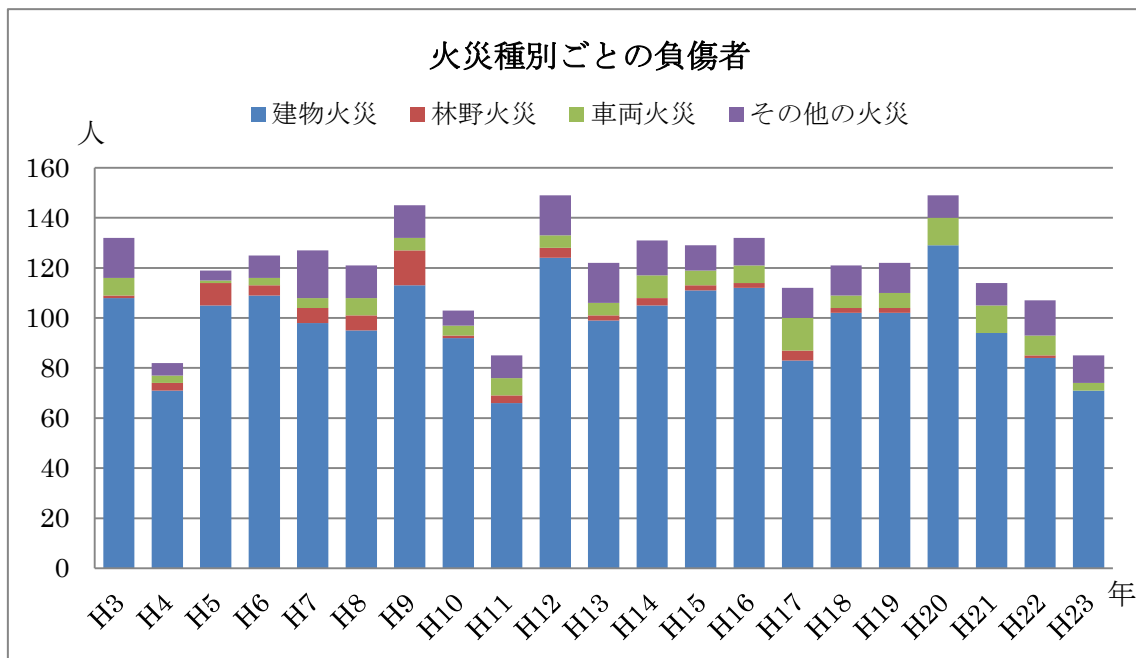
過去20年間の平均と比べると、全て平均を下回っている。(表2-10)

表2-10 火災種別ごとの負傷者

区 分	H3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
建 物 火 災	108	71	105	109	98	95	113	92	66	124
林 野 火 災	1	3	9	4	6	6	14	1	3	4
車 両 火 災	7	3	1	3	4	7	5	4	7	5
その他の火災 (船舶火災含む)	16	5	4	9	19	13	13	6	9	16
計	132	82	119	125	127	121	145	103	85	149

区 分	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
建 物 火 災	99	105	111	112	83	102	102	129	94	84
林 野 火 災	2	3	2	2	4	2	2	0	0	1
車 両 火 災	5	9	6	7	13	5	6	11	11	8
その他の火災 (船舶火災含む)	16	14	10	11	12	12	12	9	9	14
計	122	131	129	132	112	121	122	149	114	107

区 分	平均	H23
建 物 火 災	100.1	71
林 野 火 災	3.5	0
車 両 火 災	6.4	3
その他の火災 (船舶火災含む)	11.5	11
計	121.4	85



ウ 火災による死者の生じた原因

死者の生じた原因は逃げ遅れ12人(各28.6%)、放火自殺9人(21.4%)、着衣着火5人(11.9%)の順となっている。(表2-11)

表2-11 火災による死者の生じた原因

単位：人・%

区 分	18年	19年	20年	21年	22年	平均	23年	構成比
逃 げ 遅 れ	24	11	15	8	7	13.0	12	28.6
出 火 後 再 進 入	0	0	0	1	1	0.4	0	0
着 衣 着 火	5	2	3	2	2	2.8	5	11.9
放 火 自 殺	8	8	8	12	7	8.6	9	21.4
その他(不明・調査中)	10	4	4	7	13	7.6	16	38.1
計	47	25	30	30	30	32.4	42	100.0

## エ 年齢別の死者数

年齢別の火災による死者は、65歳以上が29人（69.0%）と多く、次いで6歳から64歳が13人（31.0%）の順となっている。（表2-12）

表2-12 年齢別の死者数

単位：人・%

区 分	18年	19年	20年	21年	22年	平均	23年	構成比
0歳～5歳	1	0	0	0	0	0.2	0	0.0
6歳～64歳	20	11	11	12	6	12.0	13	31.0
65歳以上	26	13	13	18	24	18.8	29	69.0
不 明	0	1	1	0	0	0.4	0	0.0
計	47	25	25	30	30	31.4	42	100.0

## オ 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

死者の生じた原因と死者の年齢別の関係を見ると、その他（不明・調査中）を除き6歳から64歳・65歳以上共に逃げ遅れが最も多くなっている。（表2-13）

表2-13 火災による死者の生じた原因と死者の年齢別の関係

単位：人

区分	0歳～5歳	6歳～64歳	65歳以上	不明	計
逃 げ 遅 れ	0	4	8	0	12
出 火 後 再 進 入	0	0	0	0	0
着 衣 着 火	0	1	4	0	5
放 火 自 殺	0	3	6	0	9
その他(不明・調査中)	0	5	11	0	16
計	0	13	29	0	42

## カ 死因別の状況

死因別の火災による死者数は、火傷18人（42.9%）が最も多く、次いで自殺9人（21.4%）、一酸化炭素中毒・窒息8人（19.0%）、となっている。（表2-14）

表2-14 死因別の状況

単位：人・%

区 分	18年	19年	20年	21年	22年	平均	23年	構成比
一酸化炭素中毒・窒息	12	4	8	9	7	8.0	8	19.0
火 傷	24	12	11	5	13	13.0	18	42.9
骨 折 ・ 打 撲 等	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
自 殺	8	8	8	12	6	8.4	9	21.4
そ の 他	0	1	2	2	2	1.4	1	2.4
不 明	3	0	1	2	2	1.6	6	14.3
計	47	25	30	30	30	32.4	42	100.0

## キ 死者の男女別の状況

男女の火災による死者数は、男性15人（35.7%）、女性27人（64.3%）となっている。（表2-15）



表 2-15 火災による男女別状況

単位：人・( ) 構成比%

区分	18年	19年	20年	21年	22年	23年
男性	31(66.0)	14(56.0)	16(53.3)	18(60.0)	18(60.0)	15(35.7)
女性	16(34.0)	11(44.0)	14(46.7)	12(40.0)	12(40.0)	27(64.3)
計	47	25	30	30	30	42

(6) 過去23年間の火災種別出火件数の推移

平成23年の出火件数は842件で、過去20年間の平均出火件数1,041件と比較すると、199件少なくなっている。

火災種別ごとに見ると、建物火災は418件と過去20年間で2番目、林野火災は34件で3番目、車両火災は90件で1番目、その他火災は299件で9番目に少なく、平均を下回っている。(表2-16)

表 2-16 過去20年間の火災種別出火件数の推移と平均

区分	H3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
建物火災	551	572	602	607	547	566	567	532	496	539	555
林野火災	53	68	105	120	118	95	99	49	67	46	63
車両火災	106	102	93	118	142	128	138	161	144	144	167
船舶火災	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0
その他の火災	236	248	319	490	399	409	324	244	239	295	375
計	946	990	1,120	1,335	1,207	1,200	1,129	986	946	1,024	1,160

区分	14	15	16	17	18	19	20	21	22	平均	23
建物火災	560	529	539	524	488	529	494	443	417	533	418
林野火災	49	27	48	46	30	49	34	54	35	63	34
車両火災	146	151	151	133	134	112	125	119	95	130	90
船舶火災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の火災	357	235	314	266	337	332	299	329	255	315	299
計	1,112	942	1,052	969	989	1,022	952	945	802	1,041	842

